



R.I.District2610. ROTARY CLUB OF UOZU

# 魚津ロータリークラブ

2014-2015 年度 R I 会長 ゲイリー C.K. ホアン  
2014-2015 年度 魚津 RC 会長 平崎 暉夫

2927 回例会  
2014.7.18  
ホテル  
サンルート魚津

## 緊張の夜 無惨な朝



19日未明から20日の集中豪雨で、魚津市は大きな被害を受けました。人的な被害を出さなかったのが不幸中の幸いでした。県によると、吉島で3棟が床上浸水し、富山労災病院1階も水に漬かりました。鴨川と角川は一時氾濫危険水位を超えました。1時間雨量は観測史上最多を更新。19日午後11時54分までの1時間に魚津で83ミリを記録しました。

土砂災害が相次ぎ、約70人が公民館に自主避難。東山では斜面が崩れ、麓の東山神社が土砂に押し潰されました。小川寺の魚津歴史民俗博物館では700点を超える農機具などの史料が泥をかぶってしまいました。

魚津国際カントリークラブは、コースに土砂が流入したため、20日から臨時休業しています。8月1日からアウトコースの営業を再開する見通しです。

市によると、道路は最大で19カ所が通行止めになりました。21日までに8カ所は通れるようになりました。

小川寺の日尾集落では街に通じる市道が崩れ、9世帯が一時孤立状態になりました。

写真は集落の神社前を流れる川があふれ、道路を覆い、激しい浸水によってアスファルトは無惨にめくり上げられました。想像を超える破壊力です。近くに住む方は「夜中に水の音が変わった」と、緊張の一夜を振り返っておられました。

被災された方々には心からお見舞い申し上げますと共に、道路の傷みや水道の復旧、土砂の処理などが一刻も早く進むように願うばかりです。



# ひとつ 心に残る例会を

本年度初の夜間例会は18日、「新年度決起夜間例会」と勇ましいタイトルを付け、ホテルサンルート魚津で開かれました。タイトルとは対照的に、稲盛仙三さんの乾杯発声で始まった会は、和気あいあいの和やかな空気の中で進み、川岸芳雄さんの元気いっばいの万歳で締めくくりました。（次頁にミニグラフ）

## 「お札に挨拶」と思えば 平崎 相手は憎くない 会長

平崎会長は、例会は年間に50回弱開かれるが「一つでも会員の心に残る形で進めたい」と述べました。

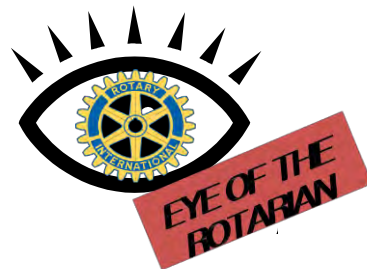
続けて「釈迦に説法ですが」と断ったうえで、「社員に嫌われているが儲かっている会社の方が、社員にはよくやってくれる社長だと思われていても儲

かっていない会社よりいい」とした著書を紹介。

自身の経験から「お札に挨拶していると思えば決して相手は憎くない」と教えられたこともあったと披露し、企業経営は下から目線の姿勢が大切ではないか、と話しました。



写真は「一つでも心に残る形で例会を開きたい」と話す平崎会長



海の駅・蟹気楼近くのポケットパークに21日完成した生駒晴俊さん寄贈のスイングベル。前日までの豪雨から一転、真つ青に晴れ渡った夏空に、生駒さんがお世話になった人への感謝と平和への願いを込めた音が何度も鳴り響きました。

除幕式には澤崎市長（写真中央）や大崎魚津商工会議所会頭、千田にいわ信金理事会長、池野北陸能開大校長ら来賓の方々と、幼なじみの海老名香葉子さん（同左）も東京から駆けつけられました。

スイングベルの設置に協力した北陸精機の谷口会長によると、ベルを支える鉄骨は潮風に錆びないよう処理し、さらに4度の塗装を重ねた念の入れようだそうです。

蟹気楼観察の拠点でもあるポケットパークに命が吹き込まれた、そんな印象でした。

（撮影・松井）



# Night Meeting



鳩首会談？楽しそうです



稲森さんの元気な乾杯で開宴



締めくくっていただきました



可憐な前菜でスタート



クラブきっての美食家？料理に注がれる鋭い眼差し



両手に花の某氏



熱く語りせるとこの方の右に出る者はいない・・・かも。

